

第3回ワークショップの結果概要

1 公共施設の再編方針案について

(1) 拠点となる施設等

①地域の公共施設再編の基本的考え方

- 人口が集中している上滝と大庄地区に施設を集約するのはやむを得ないと思うが、それ以外の地域が不便になったり、コミュニティが維持できなくならないように、「最低限」の機能を確保してほしい。また、「最低限」の認識が、市と市民とでは異なることが考えられるので、地区住民の意見をしっかりと聞いた上で判断してほしい。
- 上滝と大庄以外の地区でもそれぞれが特色を持っているので、各地区の特色を生かし、文化を育む視点も入れられるとよい。たとえば「特色ある地域コミュニティの維持」としてはどうか。
- 「防災安全性の確保」という表現は、市民にはわかりにくいので、「避難所の確保」のように具体的に書いた方がよいと思う。
- 現状の人口は、上滝地区よりも大庄地区の方が多く、今後の増加も見込めるのではないか。リーディングプロジェクトは、上滝地区で進めることになっているが、大庄地区を中心に考えて施設を整備する必要もあると思う。
- 人口を踏まえた施設整備を進めるのであれば、将来の人口分布やもっと広域の視点で計画した方がよいのではないか。大山地域外も生活圏になっている地区があることを踏まえると、市の中心部や南部地区なども含めて公共施設の再編案を考える方が、無駄な施設が減り利便性も損なわないと思う。

②優先的に取り組むべき施策

- 福沢の研究学園都市は、大山地区の貴重な資源なので、様々な学びの拠点や人材を育てる場をつくるというコンセプトはよいと思う。
- 殿様林グラウンドを中心に少年サッカーのメッカのようになってきているので、少年サッカーを中心としたスポーツのまちづくりに力をいれてはどうか。
- 森林に恵まれた大山地域は、環境都市とやまの中心となる場だと思うので、複合施設に地元の木材を使ったりして、リビングアートのまち大山をアピールできるとよい。

- ごんべ祭りやおおやま佐々成政戦国時代祭りなど、上滝を中心に行っている祭りを生かし、文化拠点として売り出すことが考えられる。

(2) 公共施設の再編方針

①地域コミュニティの維持

- 公共施設を「既存の地域コミュニティを維持していくために重要な場」と位置づけると基本方針に明記しているのだから、上滝や大庄地区以外の地区にとっても、必要なものであることを市に理解してほしい。
- 空き家を集会施設として利用するのは、安全面で不安がある。コミュニティセンターや自治会館などがあるのだから、空き家を活用しなくても集会の場は足りているのではないか。

②地域の活性化

- 少年サッカーが盛んなことを生かし、毎年大山地域で全国大会の予選を行うことをサッカー協会に呼びかけるなどして、スポーツのまちを積極的にアピールできるとよい。

③文化の振興

- 施設の再編とともに、体験会やサロンなど開催して地域の伝統芸能を保存、継承していく仕組みも検討したい。
- 大山社会体育館では、書道の大会などの文化的な催しも行われて、文化振興にも貢献しているので、文化振興の項目に施設名を入れられるとよい。
- 歴史民俗資料館と竪穴住居跡展示館は、それだけを見に訪れる人が少ないのだから、面積を減らしてでも、人が多く集まる場所に移した方が、多くの人に知ってもらえてよいと思う。
- 竪穴住居跡展示館は移設してもよいと思うが、歴史民俗資料館はこれまでいろいろな検討がされてきた経緯があるので、移設や複合の決断は慎重にすべきだと思う。

④少子化対策

- 大山地域には、豊かな自然環境があるのだから、中心市街地と同じようにビルの中に子育て施設を作るだけではなく、屋外の遊び場との連携がとれるとよい。

⑤利便性の確保

- 将来的に学校を統合する場合には、スクールバス等の方策を検討するとあるが、現状で既に不便なので、早急にバスの運行時間の充実などの策を講じてほしい。
- 人口が減少していくことが前提になっているが、市街地へのアクセスの利便性を向上させて、子育て世代の流入を増やすという視点もあってよいのではないか。

⑥安全性の確保

- 避難所として空き家や集会施設を使う場合には、耐震対策などの安全性の確保をしっかりとしてほしい。
- 災害が起こりそうな時や、起こってすぐの避難所は、危険な場所を通らずに行ける近場にあることが重要だが、その後に長く過ごす避難所は、食事の確保ができる調理室がある場所がよい。状況によって避難所に求められるものが変わると思う。

⑦財源の確保

- 水力発電は、大山地域の特徴のひとつなので、エネルギーのまちというコンセプトを押し出して、再生可能エネルギーの利用をもっと強調して書いてはどうか。
- PFI 事業の導入なども視野に入れ、財源の面でも民間との連携を強化していく必要があるのではないか。

2 リーディングプロジェクトについて

(1) 全案共通の意見

- どの案でも、200～300人規模のホールをつくること、行政サービスセンターの規模は縮小してもサービス内容は維持すること、利用しやすく十分な台数を確保した駐車場を整備することが必要だと思う。
- 店舗や金融機関などの商業機能を、いずれの案でも入れてほしい。そうすれば施設の利用者が増えることが期待できるし、地域の生活の利便性も向上する。マルシェなどができれば地域外からも人が来る場になると思う。
- 上滝地区で行った検討では、コミュニティセンターは複合せずに独立させることを市に提言しているので、コミュニティセンターを複合することは利用者のニーズと異なると思う。
- 図書館は手狭で蔵書数が限られており、バリアフリーにもなっていないので、いずれの案でも複合して新しくできるとよい。面積が小さくなくても、研修室や会議室は他の施設のものを使い、図書館機能だけを入れるのなら、十分なスペースが確保できるのではないか。
- 竪穴住居跡展示館はこの場所にある必要はないので、複合施設に入れるのではなく他に移転すればよいと思う。
- 大山らしさを出すためにも、複合施設では積極的に再生可能エネルギーの活用をすべきだと思う。
- 晩婚化で子育てしながら介護をする人もいるので、子どもと高齢者関連の用事が、ワンストップですませられる施設になるとよい。
- 大山文化会館側の敷地に作ると、線路を渡らなくてはならないので危険だし、山に近いので、子どもが訪れる施設に、猿などの野生動物が入り込まないかという心配もある。県道に面していた方が、利便性が高いことも考えると、行政サービスセンター側の敷地に作る方がよいと思う。
- 行政サービスセンター側の敷地でも、野生動物の侵入の可能性は変わらないと思うので、対策しつつ共存するしかないのではないか。

(2) 各案に対する意見

A案

- 行政サービスセンター側の敷地に建てられないかを検討し、それが難しい場合には、地下道を整備するなどの安全面への配慮をしてほしい。
- 行政サービスセンター側の敷地にする場合には、図書館だけが南側に残って孤立しない様に図書館も移転してほしい。その際、上滝地区コミュニティセンターと図書館を一緒にした施設と、残りの機能を複合した施設、2つの建物を作ってはどうか。

B案

- 周辺に体育館が複数あるのだから、複合施設に運動もできるアリーナは必要なのではないか。多目的スペースがあれば、ホール機能としては十分だと思う。
- 天候の影響を受けるおおやま佐々成政戦国時代祭りなどの祭りやイベントをアリーナで開催することができれば、文化拠点の意味合いが強くなってよいと思う。
- 図書館が複合施設に入って新しくなるのはよい。今より面積は狭くなるらしいが、図書館機能が維持されて、書架の工夫などで今より蔵書数が増えるなら問題ない。
- 今の計画だと図書館の面積が小さくなってしまふ懸念があるので、図書館を複合せずにそのまま残すパターンもあってよいと思う。
- 複合施設は行政サービスセンター側にある方が安全だと思う。敷地面積が足りずアリーナの建設ができないのであれば、多目的スペースになっても構わないので、敷地を優先して考えてほしい。

C案

- 駅を移転して複合化し、パークアンドライドできる駐車場も整備できれば、いろいろな用事がワンストップで済ませられるという利便性が更に増し、駅舎も新しくなって使い勝手がよくなるだろう。ただ、駅の移転は難しいと思うので、実現できるのかという疑問はある。

- 子育て支援センターの利用者には、地域外の人が多い。小さな子にとっては電車に乗ることも娯楽なので、市の中心から上滝の子育て施設まで来る人が、増えるかもしれない。中心部に住む車のない人が、訪れやすくなるのもよい。
- 上滝駅が移設されると、通勤、通学などで日常的に駅を利用している人の中には、駅から遠くなって不便になる人が出るのではないか。鉄道会社との交渉も難しいだろうし、現実的とは思えない。
- 上滝駅を動かすと人の流れが変わるので、駅周辺の商店から反対が出るのではないか。
- 複合施設に商業機能が配置される点がよいと思う。スーパーやドラッグストア、生鮮食料品など商業施設の具体的な内容を明記されているとよりイメージがしやすい。
- 複合施設に商業機能が入ると、既存の商店と競合しないかという心配がある。影響が少ない様に、銀行や郵便局といったサービス系の機能を入れた方がよいと思う。
- 様々な活動ができる様に、C案でも集会機能をアリーナにできるとよい。

追加・修正案

- 北側の敷地を使って、上滝地区コミュニティセンターと図書館を複合した施設と残りの機能を集約した施設の2つを建てる案は考えられないのか。商業機能も入れればさらによい。
- C案で図書館も複合することはできないのか。現状の図書館にある会議室や研修室は必要ないので、図書館機能だけを移せばよい。
- 上滝駅の移設、複合化にあわせて、利用者の少ない大川寺駅も統合する案も考えられるのではないか。
- 大庄地区は地域内でも人口が多く、今後の人口増も見込める。コメリ大山店周辺のエリアはアクセスの節点になっているので、広い道路が整備されていることも考えると、行政サービスセンターなどの複合施設は、上滝ではなく大庄にある方がよいのではないか。